

# 用途廃止施設の 早期検討が重要では

馬淵 紀明議員



利活用を考えていかなければならない  
市長



▲旧八開庁舎

**問** 本市の公共施設と用途廃止となった公共施設数は。

**答** 令和5年度末時点での公共施設数は159施設。そのうち、現在、用途廃止となり未利用の施設は4施設。

**問** その4施設の年間維持管理費は。

**答** 5年度の維持管理費は約355万9千円。

**問** 個別施設計画の中で方向性が廃止となつて旧八開庁舎と藤浪駅前警察官立ち寄り所の年間維持管理費決算額の推移は。また、今後検討していることは。

**答** 旧八開庁舎は、2年度126万9913円、3年度1115万1785円、4年度135万8201円、5年度158万8328円。6年度中に庁舎内に残

っている備品等を処分予定で、その後の対応は今後検討する。

藤浪駅前警察官立ち寄り所は、2年度6万5028円、3年度6万6839円、4年度7万6333円、5年度6万7865円。

今後は防犯・交通安全の用途として活用し、その関連団体が啓発活動を行う際の利用や啓発資機材等の保管場所としての利用についても検討する。

**問** 用途廃止後も活用の検討が何年も続き、具体的な見通しがないまま維持管理費を公費で負担し続けるのは問題だ。賃借料や売却収入を得る機会を逸しているとも考えられ、施設の用途廃止後は空白期間が生じないよう

に検討をすすめることが重要ではないか。市長の考えは。

**答** 市のみならず、様々な意見も聞きながら、公共施設の利活用を考えていかなければならないと思つている。施設を残してほしいという意見も聞くが、活用方法についてはなかなか提案されない。残すためにはその施設を有効に活用する必要がある。内部でも調整を行うがよい案が出てこないということも実情。市としても、慎重に議論しながらできる限り早く有効な活用方法が見いだせればと思つている。

## その他の質問

● 令和5年度の決算状況は。

● あいさいさん祭りの変更点は。